

## 新着本



(913/ヤ)

### 「花屋さんが言うことには」

山本 幸久 || 著

ブラック企業勤務の紀久子は、酔っぱらった勢いで駅前の花屋で働くことに。いろんな想いが詰まったお花を届けているうちに、紀久子は自分の心にもう一度向き合いはじめ-。『asta\*』他連載に加筆修正。



(913/ヌ)

### 「弊社は買収されました!」

額賀 湊 || 著

外資系企業に買収された花森石鱈。激務に耐えるベテラン、合理化を求める若手、謎多き新社長…。モチベーションも立場も世代も違う両社の社員は、この激変を乗り越えられるのか。愛社精神満点の総務部員・真柴の奮闘の行方は?

「学校では教えてくれなかった社会で生きていくために知っておきたい知識」

泉 美智子 || 監修

給与や労働環境のトラブル、天引きされる税の意味と内訳、失業後の手続き、老後資金のためにできること…。学校では教えてくれない、自立して社会を賢く生きるための基礎的知識を紹介する。

(365)



(489)

### 「パンダとわたし」

黒柳徹子と仲間たち || 著

ジャイアントパンダはなぜカワイイのか? パンダファンにおくる、パンダ愛が深まる、パンダうんちく満載の「パンダ読本」。パンダ歴75年の黒柳徹子をはじめ、動物園園長など、様々な分野の人々がパンダについて語る。

「ぼけますから、よろしくお願ひします。」

信友 直子 || 著

認知症になったあと脳梗塞で入院した90歳の母に、変わらぬ愛を注ぐ98歳の父。彼らの娘であり、同名ドキュメンタリー映画を監督・撮影した著者が、夫婦の絆を綴る。『中国新聞』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

### 「「コミュ障」のための社会学」

岩本 茂樹 || 著

異文化理解のカギは生育歴の理解、自分だけのストーリーを生きる、敵のおかげで自分を知る、違いがあるから面白い…。視野を広げて「コミュニケーションの壁」を取り払うポイントを、社会学の視点で解説する。



(913/ノ)



(361)

TRC マーク情報より

## 今月の特集

### 「私は本で旅に出る 特集」

全国各地を舞台にした小説や、旅気分を味わえる本を紹介しています。梅雨の季節、お家で次の旅行の行き先を決めてみてはいかがでしょうか。

